

寺社を巡る会

活動記録書

開催日： 平成 29 年 12 月 2 日（土） 晴	開催テーマ： ～紅葉と黄葉、北鎌倉から亀ヶ谷坂を歩く～																					
開催場所： 山ノ内 ・ 扇ガ谷	記入者： 近藤 健																					
参加人数：	<table border="0"> <tr> <td>寺社を巡る会会員</td> <td>男</td> <td>26 名</td> <td>女</td> <td>3 名</td> <td>計</td> <td>29 名</td> </tr> <tr> <td>ビジター</td> <td>男</td> <td>1 名</td> <td>女</td> <td>4 名</td> <td>計</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>34 名</td> </tr> </table>	寺社を巡る会会員	男	26 名	女	3 名	計	29 名	ビジター	男	1 名	女	4 名	計	5 名	合 計						34 名
寺社を巡る会会員	男	26 名	女	3 名	計	29 名																
ビジター	男	1 名	女	4 名	計	5 名																
合 計						34 名																
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果、成果、宿題 など）</p> <p>コース：北鎌倉駅⇒明月院⇒長寿寺（限定公開中拝観）⇒海蔵寺⇒源氏山公園（昼食）⇒英勝寺（仏殿・祠堂・六代墓所特別参拝）⇒寿福寺山門前（解散）</p> <p>JR 北鎌倉駅西口に集合したのち、赤や黄色に色づいた木々を眺めながら、アジサイ寺として有名な明月院へ。「深谷上杉氏ゆかりの寺」の石碑を右手に山門をくぐる。本堂前では、丸窓「悟りの窓」からの景色を撮る観光客などで賑わっていた。左手に枯山水庭園を見て、開山の密室守巖像が安置されている茅葺き屋根の宗猷堂を詣で、鎌倉最大級のやぐらへ。やぐらの奥の壁には釈迦如来・多宝如来・等の浮き彫りの像が見られた。次は長寿寺へ。山門左手には目がつり上がってユーモアを感じる蓮の上に乗った地藏様、右手には石塔を背負った鼯鼠（中国の架空の動物）に迎えられ山門に入る。</p> <p>長寿寺は ※紅葉とアジサイの時期に週末限定公開※ というのもあってか、他の寺院にはない独特の雰囲気を感じる。本堂の釈迦如来像を拝観、方丈の間から石・苔・紅葉など調和のとれた庭園を眺め、観音堂、そして当山創建者である足利尊氏の遺髪が埋葬されているという裏山の墓所を詣でる。</p> <p>次は鎌倉七切通しの一つである亀ヶ谷坂を越え、途中、岩船地藏堂を右手に海蔵寺を訪ねる。本尊は薬師如来像で俗称「啼薬師」といわれ、胎内に土中から発掘された木造の仏面が納められている。薬師堂脇を進むと、弘法大師が掘ったといわれる「十六ノ井」、山門右手の「底脱ノ井」をたどりながら源翁禅師と殺生石の伝説を聞く。又、季節の草花や山野草が咲く、花の寺としても有名である。</p> <p>その後、急坂の化粧坂を登り源氏山公園へ。暖かな日差しのもと昼食を済ませ、下り坂の途中にある太田道灌の首塚を経て、寿福寺の墓所から境内を抜け、鎌倉唯一の尼寺英勝寺へ。境内は太田道灌公の屋敷跡と云う。今回は鎌倉ガイド協会の配慮により、非公開の江戸初期の名建築、宝珠殿と呼ばれる仏殿に入り、阿弥陀三尊像（運慶作と伝わる）・極彩色の天井絵（龍・天女など）を拝観することが出来た。続いて、庭内の尼寺ならではの袴腰鐘楼・光圀の建立した祠堂・唐門を拝観後、竹林などを散策。</p> <p>開基の英勝院尼は太田道灌四代目康資の息女、徳川家康に仕えて「お梶」～「お勝」と名を賜り、その後水戸頼房の養母となり家康公亡き後出家し、家光公より賜った父祖の地に英勝寺を創建。頼房の息女小良姫を開山第一祖に迎え、以来水戸家によって維持されていたが、現在は（大正八年以降）東京青山善光寺から住職を招請し、今日に及んでいるという。</p>																						
<p>参加者の状況・意見など：</p> <p>紅葉・黄葉の季節と週末が重なり、各寺院は参拝者で混雑していたが、深まりゆく秋の古都の風情を十分楽しむことが出来た。</p>																						
<p>次回の予定：</p> <p>1 月 12 日（金） 10：00 大船駅西口 感応院・諏訪神社・常光寺など</p>																						